

2025

市民大学 公開講座

受講料無料(要申込)

場 所 修文大学・
修文大学短期大学部
吉田記念館7階 大講義室

定 員 前・後期各100名(抽選)

前期
テーマ

豊かな暮らしのために

◆午前10:00~11:30

10/ 8 水

ウェディングケーキ製作の デモンストレーション

修文大学短期大学部 生活文化学科 教授 相墨一彦

10/ 15 水

現代の子育て・孫育てと親学

修文大学短期大学部 幼児教育学科 教授 栗木節子

10/ 22 水

健康寿命を延ばすために(食事編)

修文大学 健康栄養学部 教授 小田雅嗣

10/ 29 水

ソーシャルキャピタルと 健康寿命

修文大学 看護学部 准教授 青山京子

後期
テーマ

健康と病気について

◆午前10:00~11:30

11/ 5 水

人生100年時代、 元気に生きるヒント

修文大学 看護学部 教授 山口陽子

11/ 12 水

意外と身近な化学物質： 健康への好影響と悪影響

修文大学 医療科学部 准教授 鈴木隆佳

11/ 19 水

食中毒発生の特徴について

修文大学 健康栄養学部 教授 山下照夫

11/ 26 水

病理検査と臨床検査技師

修文大学 医療科学部 教授 橋本克訓

対象者 18歳以上の方(高校生を除く)

締 切

前期 9月17日(水)／後期10月15日(水)

※各期 午後5:15まで

その他 託児を実施(各期初日現在、1歳6ヶ月以上4歳未満) 定員 前・後期各5名(抽選)



修 文 大 学

SHUBUN 修文大学短期大学部



一宮市教育委員会

一宮市・修文大学・修文大学短期大学部 包括連携事業

■申込先／一宮市教育委員会生涯学習課 ☎0586-85-7074(直通)
電話または電子申請

■主 催／修文大学・修文大学短期大学部・一宮市教育委員会

▼電子申請はこちら



市民大学公開講座 講座内容

前期
テーマ

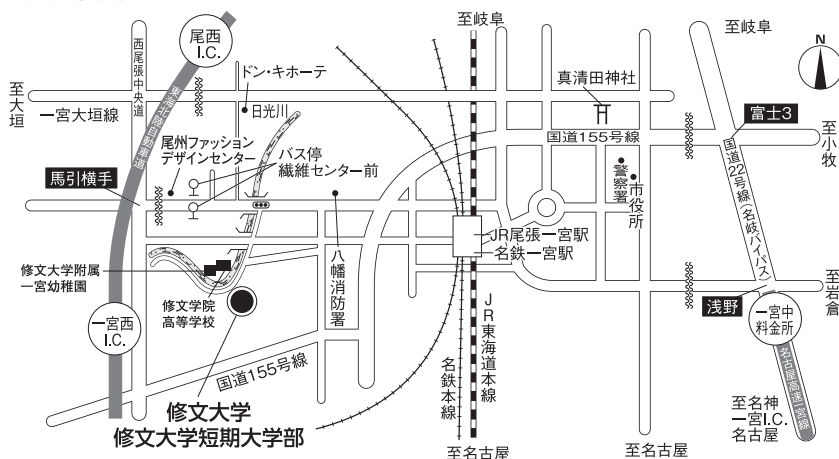
豊かな暮らしのために

後期
テーマ

健康と病気について

期	月 日	演題・講師	内 容
前期	第1回 10/8(水)	ウエディングケーキ製作の デモンストレーション 修文大学短期大学部 生活文化学科 教授 相墨 一彦	ホテル・結婚式場で供されるウエディングケーキの製作工程を解説しながら、イミテーションクリームで製作のデモンストレーションをいたします。ホテルイベントのブライダルフェアで使用するイミテーションクリームの作り方も併せて紹介いたします。
	第2回 10/15(水)	現代の子育て・孫育てと親学 修文大学短期大学部 幼児教育学科 教授 栗木 節子	時代の変化とともに、「子育て」の環境は大きく変化しています。今と昔の育児の違いを知り、今の環境に合わせた「孫育て」について考えていきます。また、親として、育児中の父母との関わり方や孫との接し方など、共に学んでいきます。
	第3回 10/22(水)	健康寿命を延ばすために (食事編) 修文大学 健康栄養学部 教授 小田 雅嗣	日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65歳以上の人口は、現在3,500万人を超えており、2042年で約3,900万人でピークを迎えますが、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれており、高齢者の尊厳の保持と自立生活のために健康の保持・増進をさらに進めていく必要があります。今回は、日本の現状と健康をさらに進めて生き生きと暮らしていくための食事の大切さについてお話ししたいと思います。
	第4回 10/29(水)	ソーシャルキャピタルと 健康寿命 修文大学 看護学部 准教授 青山 京子	健康寿命を延ばすためには、身体的な健康だけでなく、精神的な健康や社会とのつながりが大切です。地域社会とのつながりや健康寿命を生きる上で重要な「ソーシャルキャピタル」と健康寿命との関連について紹介します。
後期	第1回 11/5(水)	人生100年時代、 元気に生きるヒント 修文大学 看護学部 教授 山口 陽子	「人生100年時代」、よく耳にするようになりましたが、ただ100歳まで生きれば良いというわけではなく、「元気に、楽しく」が必要な条件です。加齢に伴う変化を知って、その対処法や元気に生きるヒントを一緒に学んでいきましょう。
	第2回 11/12(水)	意外と身近な化学物質： 健康への好影響と悪影響 修文大学 医療科学部 准教授 鈴木 隆佳	「化学物質」と聞くと仰々しいもののように感じますが、日常何気なく使っている洗剤や殺虫剤、普段から飲んでいる緑茶やコーヒーなどにも化学物質は含まれています。そのような身近にある「化学物質」がヒトに与えるプラスの影響、マイナスの影響について、一部の物質にはなりますが、取り上げて紹介します。
	第3回 11/19(水)	食中毒発生の特徴について 修文大学 健康栄養学部 教授 山下 照夫	有害な物質が飲食物とともに口から入って起こる中毒を食中毒といいます。原因となるものは、細菌、ウイルス、寄生虫、化学物質、自然毒などがあります。今回は、この内の細菌、ウイルス、寄生虫による感染性食中毒について、特徴的なものを紹介します。
	第4回 11/26(水)	病理検査と臨床検査技師 修文大学 医療科学部 教授 橋本 克訓	病理検査は患者さんの体から採取した組織や細胞を顕微鏡で観察して、病気の原因を詳細に調べる検査です。病理検査の結果(病理診断)は最終診断となります。病理検査の重要性や病理検査における臨床検査技師の役割を概説します。

会場案内



駐車場は
ございませんので、
徒歩や自転車、
公共交通機関を
ご利用ください。